

東京大学経済学創立百周年記念展示「東京大学経済学図書館の100年」展示品解説（前期）

著者	小島 浩之, 矢野 正隆, 森脇 優紀
発行年	2019-10-25
URL	http://hdl.handle.net/2261/00079026

東京大学経済学部創立百周年記念展示「東京大学経済学図書館の100年」 展示資料一覧

1. 歴代経済学部長の講義内容：経済学図書館の蔵書から

経済学図書館が所蔵する経済学の講義筆記や、講義から生まれた教科書・概説書を展示します。日本における経済学の草創期から1950年代までを中心に、主として東京大学経済学部長経験者のものを集めました。これまでの東大生が学んだ講義の息吹をあなたも感じてみませんか。

展示番号	展示書籍	著者・講述者
1-1	『経済学総論』明治法律学校出版部講法會, [18--?]	金井延
1-2	『銀行論』増改訂版, 有斐閣, 1924	山崎覚次郎
1-3	『農業政策：完』文信社, 1929-1930	矢作栄蔵
1-4	『商業政策』明善社, 1929	河津暹
1-5	『法制講話』改造社, 1925	森荘三郎
1-6	『稿本租税論講義：全』有斐閣, 1924	土方成美
1-7	『自由主義の歴史と理論：東大に於ける特別講義』社会思想研究会出版部, 1948	河合栄治郎
1-8	『理論経済学概要』岩波書店, 1943	舞出長五郎
1-9	『経済統制論』帝大プリント聯盟, 1941(複製)	橋爪明男
1-10	『植民政策講義案』有斐閣, 1924	矢内原忠雄
1-11	『経済政策総論』東京大学消費生活協同組合教材部, [1949-1950]	有沢広巳
1-12	『資本主義構造論：山田盛太郎東大最終講義』日本経済評論社, 2001	山田盛太郎
1-13	『商業政策』東大協同組合出版部, [1947]	脇村義太郎
1-14	『社会政策講義』有信堂, 1963	大河内一男
1-15	『国際経済概論』東京大学出版会, 1954	楊井克巳
1-16	『日本学術会議第三部会公開講演及東大経済学部夏季大学講座：要旨並解説』九州貿易専門学校, [1950]	有沢広巳, 舞出長五郎, 大内兵衛, 脇村義太郎, 楊井克巳, 山田盛太郎, 柳川昇, 大河内一男, 木村健康
1-17	『最終講義』実業之日本社, 1997	矢内原忠雄, 大内兵衛, 大塚久雄

2. 経済学図書館100年の歴史とそのコレクション

収集コレクションや図書館運営の歴史資料などから100年を辿ります。会期中で展示替があります。

【前期】2019年10月25日(金)～11月30日(土)

展示番号	資料名	作成年月日等	コレクション名	解説
2-1	China und Japan : Erlebnisse, Studien, Beobachtungen auf einer Reise um die Welt. 1ed[初版]	1897年	特別資料	探検家Ernst von Hesse-Warteggによる19世紀末の中国および日本の記録。東京帝国大学の建物の版画が挿絵に使われている。初版本からは表紙部分を、第2版からは当時の経済統計研究室が入る法文研究棟の全景版画部分を展示
2-2	China und Japan : Erlebnisse, Studien, Beobachtungen auf einer Reise um die Welt. 2ed[第2版]	1900年	特別資料	
2-3	Beschreibung der Harzischen Bergwerke nach ihrem ganzen Umfange	1753年	エンゲル文庫	高野岩三郎の尽力により購入が決まり、法科大学に経済統計研究室が置かれる契機となったエンゲル文庫から、ドイツ中北部のハールツ鉱山に関する記録を展示
2-4	アダム・スミス旧蔵書寄附願控(東京帝国大学総長宛)	1920年12月21日	内部資料	渡欧中の新渡戸稲造の依頼を受けて、山崎覚次郎が当時の東京帝国大学総長・古在由直宛に書いたアダム・スミス旧蔵書の寄附願の控
2-5	共成株式会社明治四十二年度存立時期改正第九回営業報告	[1910年]	営業報告書	ベルリネルの提案により収集の始まった営業報告書のうち、法科大学時代の蔵書印「東京帝国大学内商業資料文庫之印」が残るもの
2-6	商標権登録回復申請書	1924年5月20日	山一証券資料	所蔵する山一証券資料より、「山一」の由来である商標の登録証が、関東大震災により焼失したため、これを回復するために作成された文書
2-7	重役会備忘録 No.8 昭和十七年一月-昭和十八年六月	[1943年]	横浜正金銀行資料	所蔵する横浜正金銀行資料より、小野英輔(オノ・ヨーコの父)が1942年9月23日付けでハノイ副支店長となったことを示す記録

【後期】2019年12月16日(月)～2020年2月1日(月)

東京大学経済学図書館の歴史に関わる資料の展示を予定しています。

※なお、前期展示と後期展示の間の2週間は、冬期特別展示として12月初旬を象徴する出来事(太平洋戦争および赤穂事件)に関する一次資料を展示します。

3. 写真でたどる経済学図書館の100年

経済学図書館が所蔵する記録写真から経済学図書館の100年の歩みをたどります。別掲の「東京大学経済学図書館略年表」と見比べながらご覧ください。

展示番号	写真名称	撮影年	解説
3-1	経済学部創立期の経済統計研究室と職員	1922年頃	右より二人目が関東大震災時に、アダム・スミス文庫の搬出で活躍した永峰巳之助氏、同三人目が学部創立以後50年にわたり経済学部の図書館業務に大きな足跡を残した太田重弘氏である。
3-2	経済統計研究室の内部	1922年頃	経済学図書館の前身である経済統計研究室の蔵書の淵源は、高野岩三郎が購入に奔走したエンゲル文庫の整備にさかのぼる。写真は経済学部創立当初の内部を写した貴重な一枚である。
3-3	関東大震災直後の様子	1923年	関東大震災の発生から2時間を経過した、1923年9月1日の午後2時頃に写されたもの。手前には経済学部研究室と文学部研究室から運び出された図書が、その背後には研究室棟が見えている。研究室は写真撮影直後に火災で焼け落ちたという。
3-4	関東大震災後に再建された法経新館	1927年頃	関東大震災後、駒場キャンパスへの移転案も含めて学部研究棟の再建が検討された。最終的に本郷に再建されることとなり、1927年に完成した。現在の法文一号館、二号館がこれにあたる。
3-5	経済学部研究室旧館	1953年頃	
3-6	修復前のアダム・スミス文庫	1953年	新渡戸稲造の寄贈によるアダム・スミス旧蔵書（アダム・スミス文庫）は、関東大震災や戦災の難を逃れたものの、1950年代には写真3-6のように激しく劣化していた。この状況を憂慮した大河内一男らの教授陣や、当時の図書館職員らの尽力で、1955年1月から1957年9月まで2年8か月の歳月をかけて大規模な修復作業が行なわれた。この修復は「原形保存」の方針を徹底したもので、現在の資料保存の考え方に通じるものであった。
3-7	修復後のアダム・スミス文庫書架	1957年頃	
3-8	椿山	1964年頃	研究室や書庫の不足から建物の手狭になったため、経済学部は正門前から赤門前の現在地に移転することとなった。写真は、この場所に経済学部が移転するまで存在した椿山と呼ばれた築山である。
3-9	経済学部本館閲覧室【現経済学図書館閲覧室】新築完成時	1965年	経済学部新館（現在の赤門総合研究棟）工事は、2期に分けて行なわれ、書庫や閲覧室は1965年に竣工し、赤門に近い部分は翌年に竣工した。
3-10	経済学部本館【現赤門総合研究棟】新築時（赤門側から）	1966年	
3-11	経済学部本館【現赤門総合研究棟】新築時書庫概観	1965年	
3-12	東大紛争で破壊された書庫の窓ガラス	1969年頃	東大紛争では、経済学部建物の封鎖をめぐる激しい乱闘が繰り返され、機動隊も導入された。図書館もその渦中にあったことを示す写真である。
3-13	経済学部図書室閲覧室【現経済学図書館閲覧室】	1970年代	閲覧室に掲げられている教授肖像写真、書庫の排架の様子などから、今日の経済学図書館の大枠はこの時代に築かれたことがわかる。
3-14	書庫7層	1970年代	
3-15	図書館事務室	1970年代	
3-16	『国富論』刊行200年記念：アダム・スミス文庫公開展示の様子1	1976年6月18-19日	総合図書館集会所にて開催。「アダム・スミス文庫」300余冊のほか、スミスの著作や、『国富論』の各国語訳、日本におけるスミス研究の文献など約500冊を展示した。
3-17	『国富論』刊行200年記念：アダム・スミス文庫公開展示の様子2	1976年6月18-19日	
3-18	耐震改修工事終了直後の赤門総合研究棟	2004年	2001年に現在の経済学研究科棟が完成し、図書館以外の機能が移転すると、旧経済学部本館は2002年10月から2004年1月にかけて耐震改修工事が施され、赤門総合研究棟としてリニューアルした。
3-19	学术交流棟（小島ホール）	2014年	学术交流棟は、小島謙次郎氏（小島プレス工業会長）による図書館設備整備を主旨とする寄付によって建設された（2009年7月竣工）。図書館組織のうち、資料室がこの棟に移転することとなった。
3-20	東日本大震災後の書庫3層	2011年	2011年3月11日の東日本大震災では、88年前のような火災による焼失という事態は免れたものの、7000冊もの書籍が落下するなど大きな被害があった。
3-21	現在の図書館閲覧室	2019年	この場所に図書館を構えて60年以上が経過し、蔵書数は84万を超えた。書庫の充実ぶりは一目瞭然だが、その背後には温湿度管理や補修といった資料保存のための営為が一貫して行なわれている。
3-22	現在の図書館書庫2層	2019年	

※展示会場は図書館閲覧室内にあります。一般の図書館利用者のために静粛な環境の維持にご協力くださいますようお願いいたします。

前期展示品を追加します（2019年10月28日～）

創立百周年記念式典の受付ロビーに展示し、好評であった、**法科大学時代の試験問題**（田尻稲次郎講師出題、1883年）、**初代学部長・金井延の辞令書**、**新渡戸稲造の蔵書印・署名入の旧蔵書**を前期展示期間に追加で展示いたします。

解説執筆：小島浩之・矢野正隆・森脇優紀

発行日：2019年10月25日

編集：東京大学経済学部資料室

発行：東京大学経済学図書館

<http://www.lib.e.u-tokyo.ac.jp/>

Instagram @utokyo_rhco